

港湾整備によって埠頭背後地への工場立地が進み 効率的な輸送体系を形成しコスト削減が図られる

いま ぱり

file13

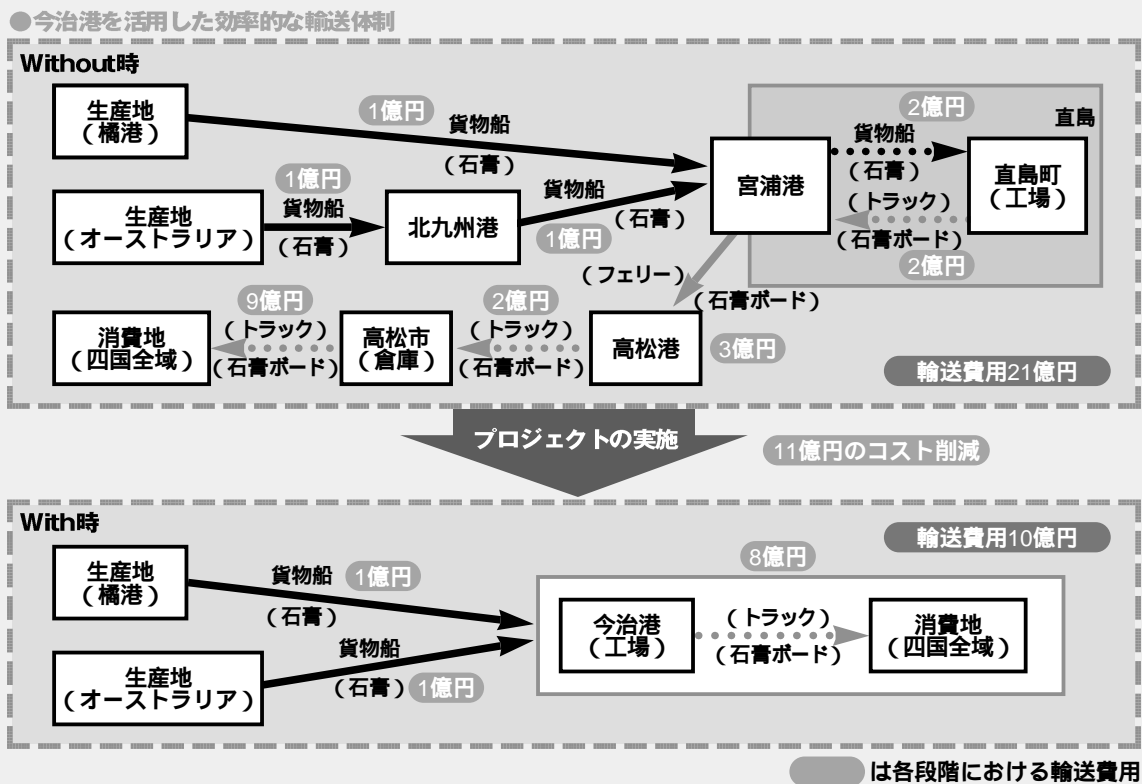
今治港

対象施設 富田地区多目的国際ターミナル 岸壁(-12m)
供用 平成7年

港湾利用者であるY社は建築資材に使用されている石膏ボード等の製造会社で、原料となる石膏はオーストラリア等から搬入されてきている。以前は香川県の直島にある工場に北九州港で内航船に積み替えるなどして運び込んで、製品化して四国全域へ搬送されていた。

しかし、今治港に水深12m岸壁を備えた富田埠頭が整備され背後地に工場が新たに立地することにより、原料はオーストラリア等から直接搬入することができるようになった。これにより、内航船への積み替え及びトラックでの搬送がなくなったことから、年間約11億円のコスト削減が図られた。

また、新たな工場立地により雇用創出効果も図られている。



第2部
個別港湾事例

●整備された今治港

